

2019年度 マンスリーレポート No. 60

3月1日、COVID-19感染対策本部の報告で、国内事例はPCR陽性者239人(死亡5人)、クルーズ船事例はPCR陽性者706人(死亡6人)になった(散発的で小規模の発症が複数)。

3月3日、医学部医学科の学位記授与式と卒業祝賀会の中止が決まった。

3月5日、医学教育分野別評価に関するアンケート(全国医学部長病院長会議)が届き、チームKの実務班(石竹/安達/高山)が討議して回答案を作成し、医学部長に提出した。

3月8日、一般入試(後期)が行われ、安達と山田が一次試験で監督を担当した。

3月9日、教務委員会が開催され、COVID-19感染拡大への対応が報告された。新年度の授業の制限を想定し、柏木がライブ配信の実行可能性を教務課と検討することになった。

3月10日、安倍首相が大規模イベント自粛の10日間程度継続を要請した。当面の間、学生はクラブ活動や食事会を原則禁止、大勢のイベントへの参加を避けることになった。

3月11日、教授会議が開催され、山田が行った臨床医学CBT解析結果が報告された。

3月13日、医師国家試験に関するアンケート(全国医学部長病院長会議)が届き、教務課と医学教育研究センター(安達/柏木/山田)で回答案を作成し、医学部長に提出した。ユニットの会(日本医学教育学会)で議論されている遠隔授業について、柏木が文化庁と著作権団体が発表した「新型コロナウイルス感染症対策に伴う学校教育におけるICTを活用した著作物の円滑な利用について」をメールで情報提供した。柏木が新教務システム(出欠管理を含む)の導入作業を業者と行った。

3月16日、第114回医師国家試験の結果が発表され(厚労省)、新卒は受験者131人、合格者115人、合格率87.8%(全国94.9%、私立95.4%)、既卒は受験者16人、合格者9人、合格率56.3%(全国69.2%、私立77.1%)であり、安達が「学生に熱意と愛情を」、柏木が「第114回国試を振り返って」を『教務ニュース』に提出した。

3月17日、新採用研修医実技演習に関する打合せ会議に山田と片山が参加した。来年度PCCEの専門職連携教育(IPE)について、山田が看護学科の古村教授と協議した。

3月18日、教授会議の冒頭、柏木が講義で配信する資料の著作権に関する最新の動向の説明とフリー画像素材サイトの紹介を行った。

3月20日、安倍首相がイベント開催について、専門家会議の見解に沿って、主催者側がリスクを判断して慎重に対応し、感染対策を行って感染拡大防止に留意するよう促した。

3月24日、文科相が学校再開のガイドラインを公表し、一斉休校を解除する学校では、教室の換気と近距離の会話でのマスク着用の徹底、学生や教職員が感染したときは感染者と濃厚接触者の出席停止と臨時休校を指示し、入学式や部活動でも「密閉空間 人の密集 近距離の会話」を回避する対策を要請した。

3月25日、教務委員長と教務課が新年度の授業方法を議論し、柏木が遠隔授業(ライブ配信やMoodle資料)の導入を提言し、教務課(医学科と看護学科)で準備を開始した。

3月26日、トレセン会議が開催され、来年度の予算や購入計画が審議され、購入機器や使用状況が報告された。2018年度と2019年度を比較すると、使用件数は334件→537件、使用人数は4,521人→6,302人、使用時間は13,439時間→15,233時間と増加し、使用者の内訳は、看護師40%、医学生30%、医師9%、看護学生6%、医療技術職2%であった。

3月27日、柏木が新入生オリエンテーションの映像配信テストを行った。

3月31日、医学教育研究センターの開設から5年間の経過した(月報は今回でNo.60)。柏木が第1学年～第4学年の同時映像配信のテストを行った。臨時教授会議が開催され、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策として、体調確認(検温を含む)を行ったうえで、

教室の換気(10分ごと～常時開放)、クラスを半分に分ける(メイン会場は通常講義、サブ会場はライブ配信)、第1・第2学年と第3・第4学年の授業時間を20分ずらす(昼休みの食堂の混雑を緩和)、実習は要対策で実施(医学入門実習と学外実習は中止)となった。

*クリニカルスキル・トレーニングセンターで開催されたイベントは次のとおり。

3月5日、一次救命処置講習会(救急蘇生小委員会)

3月5日、病棟勉強会(病棟看護師)

3月11日、ロボット支援下手術シミュレータートレーニング(外科医師)

3月11日、一次救命処置講習会(救急蘇生小委員会)

3月13日、ロボット支援下手術シミュレータートレーニング(外科医師)

3月17日、臨床研修医オリエンテーション打ち合わせ会議(臨床研修センター)

3月18日、ロボット支援下手術シミュレータートレーニング(外科医師)

3月24日、気管内挿管介助実習(病棟看護師)

3月25日、一次救命処置講習会(救急蘇生小委員会)

3月26日、クリニカルスキル・トレーニングセンター会議(医学教育研究センター)

3月27日、気管内挿管介助実習(病棟看護師)

*新型コロナウイルスの感染拡大で中止や延期が相次いだ。

文責：安達洋祐